

うつのみやまちづくり市民会議 議事録

会 議 の 名 称	市民会議（第6回都市自治分科会）
開 催 日 時	平成18年3月28日（火）午後6時30分から8時30分
開 催 場 所	宇都宮市役所 14階 B会議室
出 席 者	（市民委員）中村会長，浅野（黨）委員，浅野（政）委員，柿沼委員，川又委員，小針委員，清水委員，高野委員，船津委員 （欠席：浅見副会長，橋立委員） （市事務局）
会 議 内 容	・重点課題の議論
会 議 資 料	第6回資料 委員提供資料
発言者	発言内容
進行	それではこれから第6回分科会を行います。今回の分科会では，いよいよ重点課題の絞込みを行います。
市民委員	市内の公共交通は，市民生活に関わる重要なテーマであることから，LRTに関連する話題もこの分科会で取り上げるべきではないでしょうか。
市民委員	都市自治を実現するための交通のあり方というテーマはあるかもしれませんが。しかしながら，基本的には交通については都市基盤整備分科会が検討をしますので，都市自治分科会としてはそちらの検討との役割分担を図る必要があります。たとえば，LRT導入の是非自体については，この分科会で検討すべきテーマではないでしょう。 本日は，数名の委員からの提供資料がありますので最初にご説明いただきます。
市民委員	警察庁の通達により，歩行者天国が実施しやすくなったという記事を紹介したいと思います。また，国土交通省が，歩行者天国を活かした社会実験を募集していますが，宇都宮でも行政や商工会議所が先頭に立ってこうした社会実験を行うべきだと思います。
市民委員	都市自治分科会としては，交通問題や歩行者天国を活かしたまちづくり施策などについては別の委員会での検討に委ね，ここでは深入りしなくともよいのではないのでしょうか。
市民委員	私からは，コミュニティセンターや自治会館に関する情報収集の結果を発

	表したいと思います。いろいろ調べましたが、意外と各地域コミュニティセンターの機能の違いや、地域集会所や地区市民センターの実態については知られていない。こうしたコミュニティ施設について、どこにどのようなものがあり、どうした機能や実績を持っているのかを一度把握する必要があるのではないのでしょうか。
市民委員	コミュニティ施設がどのようなものであるかについて知ることも重要だと思いますが、むしろこの分科会では未来に向けての提案をするべきではないのでしょうか。
市民委員	コミュニティ施設の現状については、行政側が把握をしているはずなので、今後必要であれば情報を提供してもらえばよいと思います。
市民委員	私からも提供資料があります。私は、前回の市民会議の都市自治分科会での提言と、第4次総合計画改定基本計画の都市自治分野の施策との対応表を作成しました。これを見れば、提言のうち、採用されたものとそうでなかったものが一目でわかります。 また、前回の分科会では、総合計画の達成度評価に関する資料をいただきましたが、指標の設定はどのように行われたのかを把握することは、今後の分科会の議論に役立つと思いますので、市側にぜひ教えていただきたいと思います。
進行	それでは、本題の重点課題の絞込みに入りたいと思います。事務局から本日の検討の流れについて説明があります。
事務局	重点課題の絞込みにあたっては、前回の分科会で議論した、重点課題の絞込みの視点を参考にすると、委員同士で同じ視点に立って議論しやすくなると思います。また、結果として他の分科会で主に検討されているテーマと関わる重点課題を採りあげることとなってもよいかと思いますが、その際には役割分担上、都市自治分野ならではの視点が必要となるでしょう。また、委員ご提供の資料は前回提言されいながら実現されていない重点課題を見つける上で大変有益な資料ですので、ぜひ活用しましょう。
市民委員	重点課題の絞込みの視点を踏まえて、市民と行政に加えて、企業との情報の共有が重要であると申し上げたいです。勤労者の数は、高齢者や学生よりも多いため、企業の社会貢献活動への地域への影響は大きいといえます。また、NPOに関する情報共有も重要です。市内には400を超えるNPOがあり、NPO同士は互いに何をやっているか情報交換をしているようですが、市民はNPOの活動についてあまり知る機会がありません。

市民委員	LRT に関する意思決定の流れを間近に見て私は感じるのですが、行政の政策形成過程の透明化も非常に重要な課題であると思います。
市民委員	自治基本条例は私はぜひつくるべきだと思いますので、重点課題に挙げたいと思います。
市民委員	協働という名の行政から市民への仕事の押しつけがないような、真の協働を担保する条例づくりが重要だと思います。
市民委員	自治基本条例を作る過程で行政と市民の協働が担保されていないといけないと思います。
事務局	自治基本条例の制定の議論については、市がすでに検討を開始していることと、課題というよりは、課題解決のための非常に具体的な方策であることから、議論をするにあたっては、自治基本条例の制定に関する具体的な内容とそれが位置づく課題について吟味する必要があると思います。
市民委員	団塊の世代の退職のインパクトは、その数と、弱者ではなく元気な高齢者という新しい姿を実現することが期待されるため、大変大きなものがあると思います。そのため、団塊の世代の地域での活用は重点課題としてぜひ取り上げるべきだと思います。
市民委員	自治会を通じた市民力の向上は重点課題として取り上げるべきではないでしょうか。
市民委員	例えば雀宮の自治会活動は大変活発である一方、市の中心部ではそうではないと感じられるように、自治会によってコミュニティ活動の取り組みに差があるように思います。そうした点からも、自治会活動を重点課題として重視することは必要だと思います。
市民委員	私は自治会活動に長年携わっているが、私の認識では自治会活動はそれほど地域によって差はないと思います。
市民委員	私のような比較的若い世代にとっては、自治会活動は休日を奪われるなど、負担として捉えられてしまっているように思います。
市民委員	私は、自治会の強化を課題として取り上げるよりは、むしろコミュニティ施設の有効活用が重点課題だと思います。

市民委員	以前から委員のお一人が指摘されているシステムの連携についても取り上げるべきではないでしょうか。
市民委員	例えば地域包括支援センターが設置されますが、センターでは介護、福祉、医療の各分野を横割にして対応する必要があるため、システムの連携という課題は今後極めて重要であると思います。また、民間と行政との連携による地域へのサービス提供という観点も益々重要になるでしょう。
進行	本日の分科会では、5つ程度まで重点課題を絞り込む必要がありましたが、絞り込みにはいまして時間が経過しますので、次回の分科会でも議論を継続させましょう。 次回の日程は4月25日（火）18時半からですが、次々回についても今のうちから決めましょう。 5月30日（火）18時半からにしましょう。場所は後日ご連絡いたします。それでは以上で第6回の市民会議都市自治分科会を終了します。ありがとうございました。